アリを徹底的に観察し、記録し、観察できたことを表現する。

6 アリを追跡せよ！

短い時間でも、1種類の動物を続けて観察してみると、意外なことに気づくものです。アリはどこにでもいて、活発に活動しているので、観察しやすい上に、いろいろと面白い事実を教えてくれます。

ねらい

アリの観察を通じて、動物を継続して観察すると、おもしいもよらない発見があることを知る。自らの観察によって発見できることがあることを知る。

達成目標

・アリの面白い行動について、例を挙げて説明できる。
・アリの生活や生態などについて、不思議だなと思うこと、疑問に思うことを一ついえるようになる。

導　入

アリはどんなところにいるでしょう。アリを見つけることができるかな？アリの観察の仕方について説明し、自分が観察したい場所を決めてもらおう。

まとめ

観察し、記録してきたことを、まとめ、発表します。発表の仕方は自由ですが、模造紙などにまとめてもいいし、アリの様子を演じながら説明するなど、演劇のようなスタイルをとってもおもしろい。

展　開

2～3人組で観察する。観察が始まってから20分くらい、自由に観察してもらう。ただし、そこでどんな行動が観察できたか、何をしていたか、一生懸命記録をとることを課題とする。

実施のポイント

とにかく（だまされたと思って、でもいいから）続けて観察してみるようにはたらきかけよう。観察すると、おのずと面白いことがらにであったり発見したりできるものです。観察している子どもたちのところを回って、声かけをし、興味が持続するように工夫する。

◆所要時間	1時間
◆人　　数	30人程度
◆関連科目	理科、国語、演劇
◆焦点を当てる能力	観察する、記録する、まとめる傾向を見つける、表現する
◆準備するもの	ワークシート、クリップボード模造紙などまとめるときの道具
◆安全のポイント	観察に夢中になって、危険な場所に立ち入らないように、目を光らせよう。時々、子どもたちのところを見回って声かけするとよい。

評価の視点

飽きずに観察できたか。観察したことを記録できたか。観察したこと、感激したことなどを他の人に上手に伝えられるか、を大切なポイントとする。

発展・応用

アリ以外にも、クモを観察してみたり、チョウがどんなルートで飛んでいるか、など、多少動きのある動物を対象に、何らかのテーマを決めて観察し続けてみよう。多少実験してみるのも楽しいよ。

参考文献

オリジナル／「プロジェクトワイルド（小枝の上のアリ）」を改変
類似プログラム／「アリを追跡しよう」（GEMS）

アリの行動観察ノート 6

◆ アリが動いたルートを記録しましょう。　　年　　月　　日　名前

記録ノート

時刻	行動の記録

アリの四コママンガ

1　説明・セリフ
2　説明・セリフ
3　説明・セリフ
4　説明・セリフ

一人が時間を見る役、一人は記録する役割をしましょう